



ユースセンター について学ぼう！

両角達平（日本福祉大学）

両角達平 (モロズミタツヘイ)

所属

- ・日本福祉大学社会福祉学部講師
- ・国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター（客員研究員）
- ・静岡県立大学国際関係学研究科CEGLOS（客員研究員）

研究キーワード

若者の社会参画について、ヨーロッパ（特にスウェーデン）の若者政策、ユースワークの視点から研究。

経歴

- 長野県茅野市→静岡県立大学
- スウェーデン留学→ドイツの国際NGO
- ストックホルム大学院
- 文教大学（研究員）→国立青少年教育振興機構
- 日本福祉大学（名古屋）

きっかけは
ユースセンターと
ユースワーク
の活動



CHUKOらんどチノチノ

若者が社会の 作り手と感じ らる社会へ YEC発足



National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

もうひとつの
放課後探し
プロジェクト
2015

ユースワークとは？

ユースワークとは？



若者が自分の生活や人生にかんするあらゆることを意思決定できるように支援し、権利を保障する活動。

ポイント：あらゆる活動や機会で、若者と共に（by youth, with youth, for youth）あること

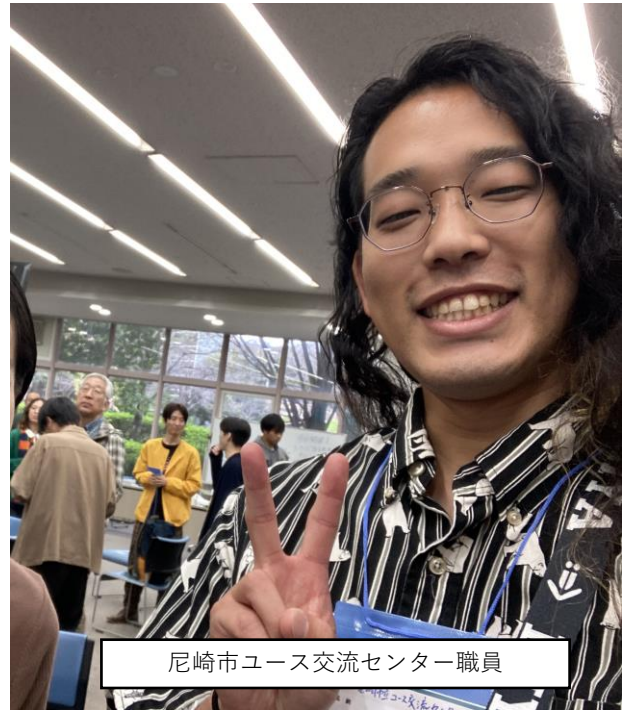




(財)京都市ユースサービス協会職員



郡山市のユースワーカー・スクールSW



尼崎市ユース交流センター職員



全国のユースワーク関係者



名古屋のユースワーカー



スウェーデンSEのユースワーカー

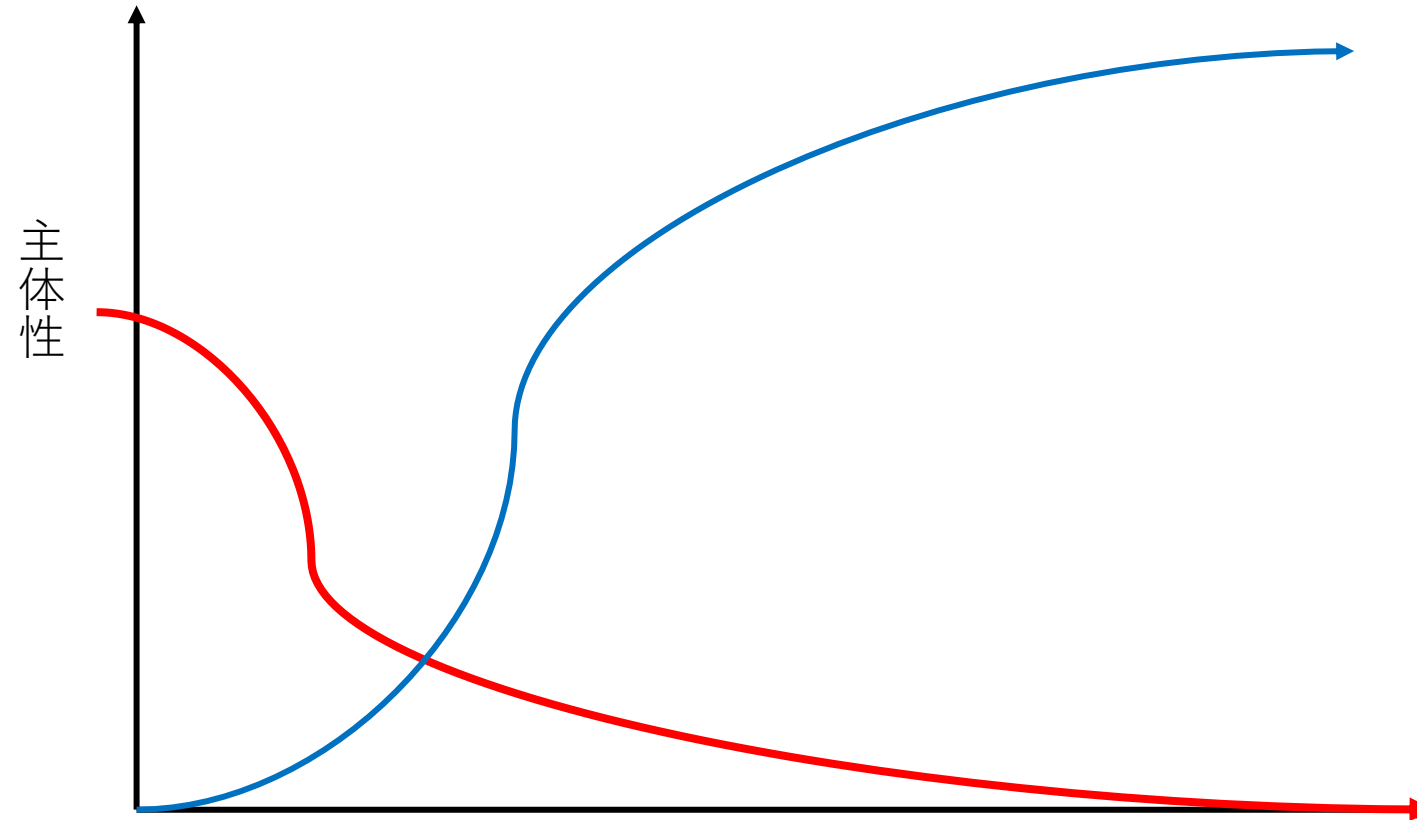
ユースワーカー

ユースワーカー：若者と向き合い、信頼関係を築き、多分野と連携して可能性を引き出す人材。

・ボランティアから正社員、職員まで

・職場：青少年教育/社会教育施設・団体、子ども若者総合相談センター、財団法人、NPO、市役所（子ども・青年局）、学校など

ユースワークにおける 若者とのかかわりのあり方



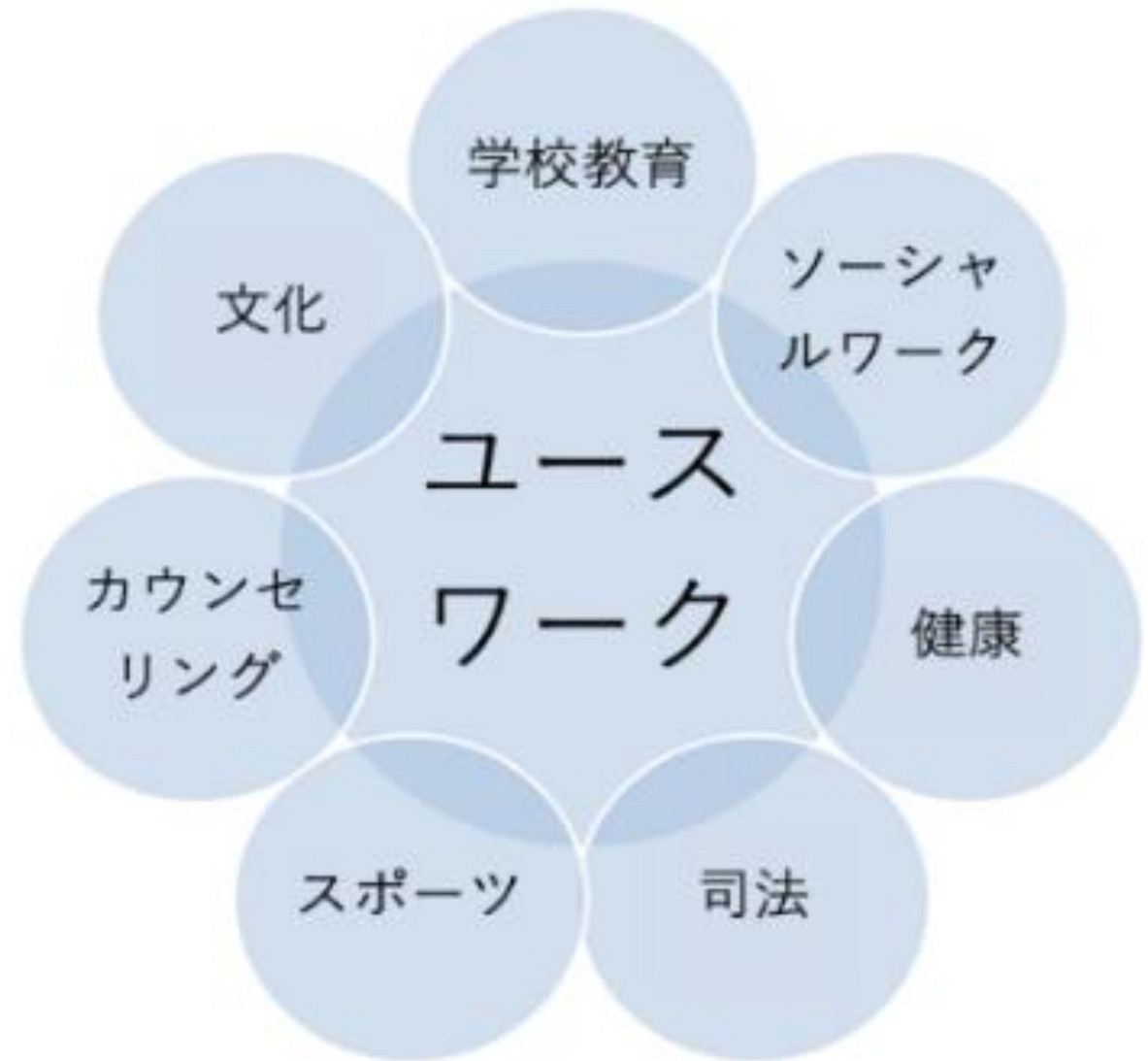
若者

時間

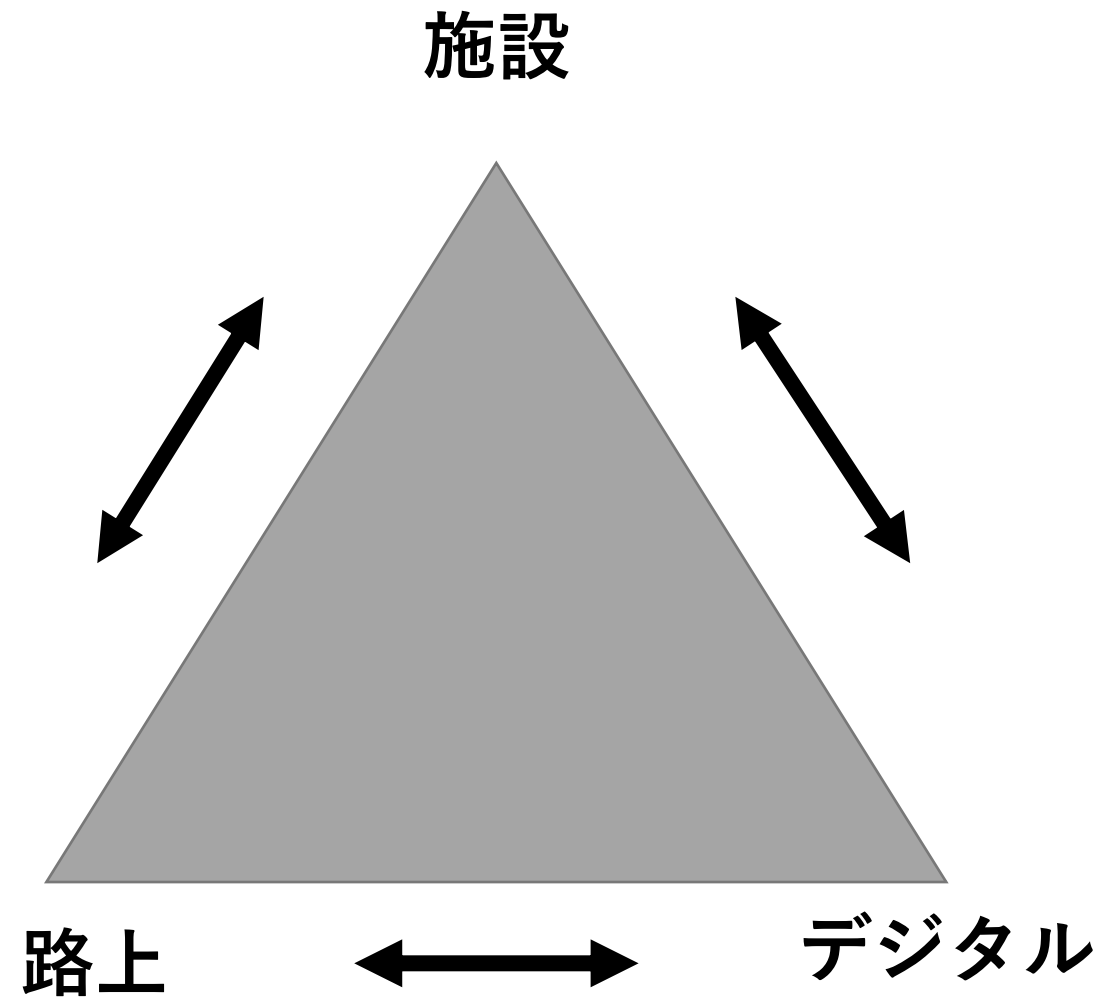
ユーザー

ユースワークと そうじゃないものの違い

- ✓ 若者が「まんなか」か
- ✓ 若者の声を聴いているか、若者と取り組んでいるか、若者が選んでいる活動か
- ✓ 若者個人にも社会にとっても良いものか
- ✓ 若者にとって魅力的か



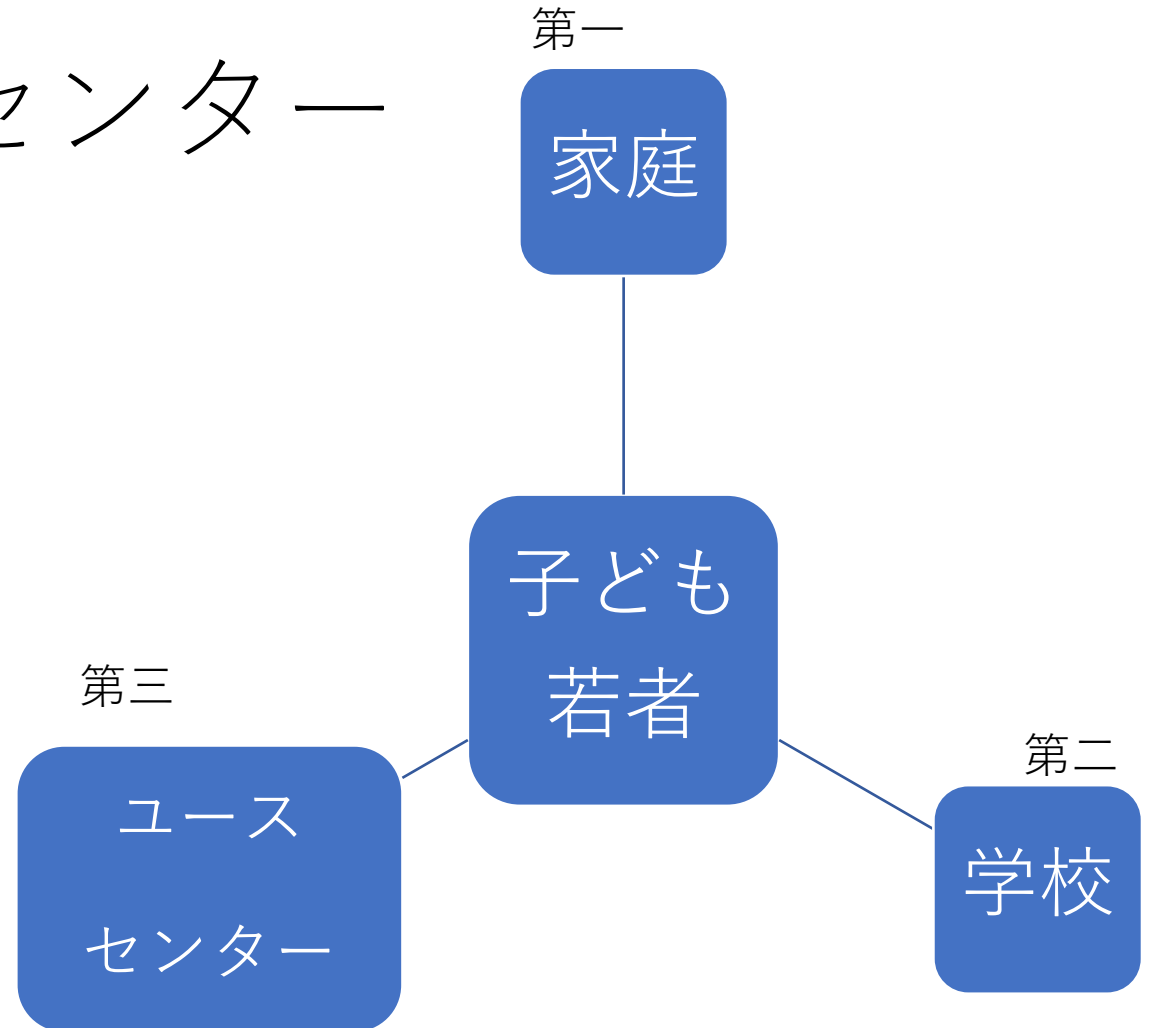
ユースワークが行われる場所



若者の居場所：ユースセンター



CHUKOらんどチノチノ





なぜ
若者の居場所が大事？

家庭も学校も自分で選んだ
場所ではない。

ユースセンターは、
若者が

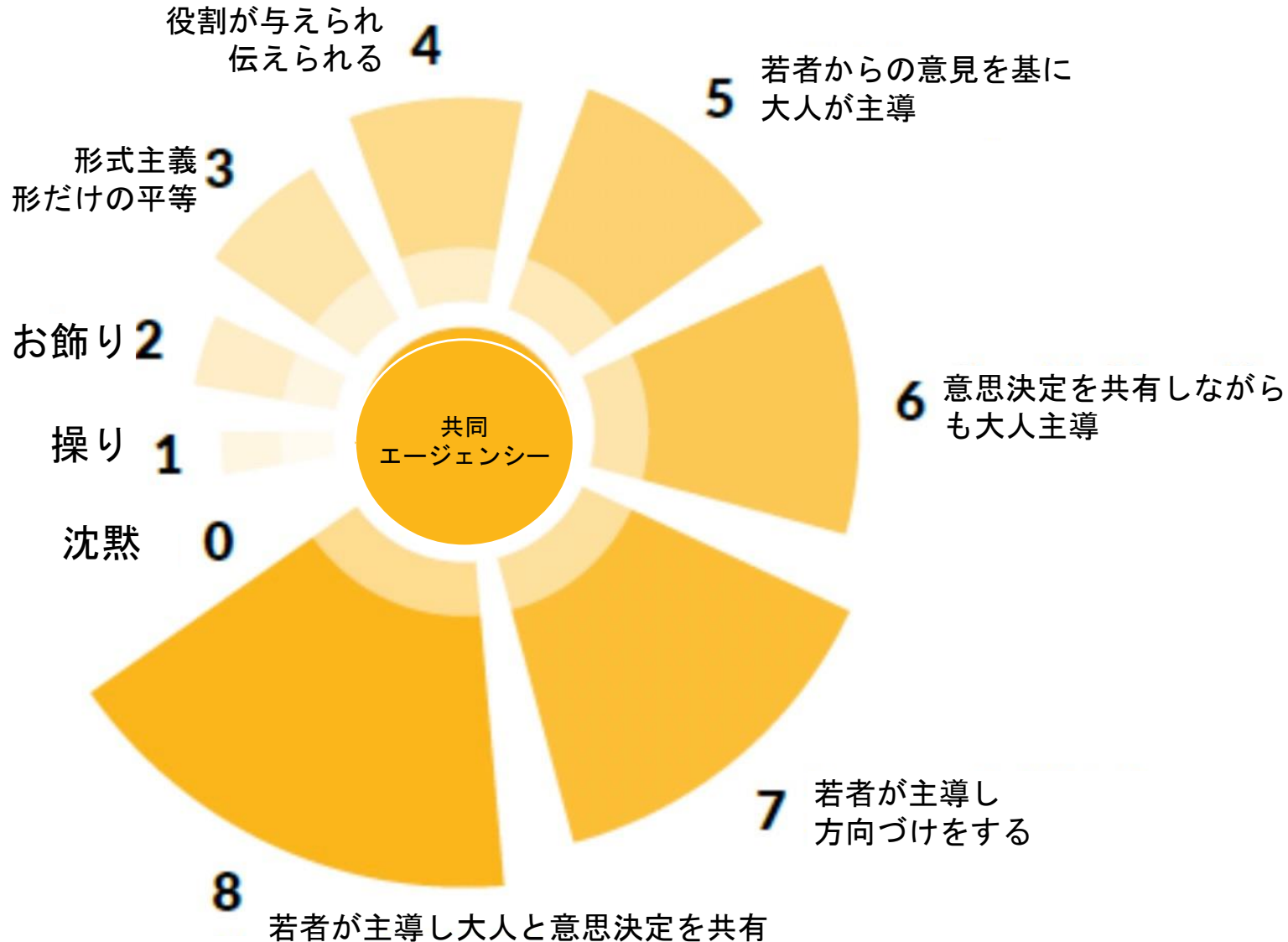
(おそらく人生で初めて)

**自分で来ることを
選んだ場所だから！**

—Tania de St.Croix

太陽モデル

光はみんなで一緒に輝いたとき一番明るくなる



若者の参画を
発揮していく方法

スウェーデンの ユースセンター・余 暇センターとは

- Mätplats = 交流・出会いの場
元々はセツルメントとして20世紀初頭に設立したものが広がる

- 対象年齢

施設によって対象年齢は異なる, 対象人口の1~2割の利用

- 全国290の自治体に1500施設

- 全国で約3700人の職員

- 職員の形態

余暇リーダー(fritidsledare)

社会教育者

ボランティア、インターン、パート



スウェーデンのユースセンターの考え方： オープンレジジャーアクティビティ（OLA）

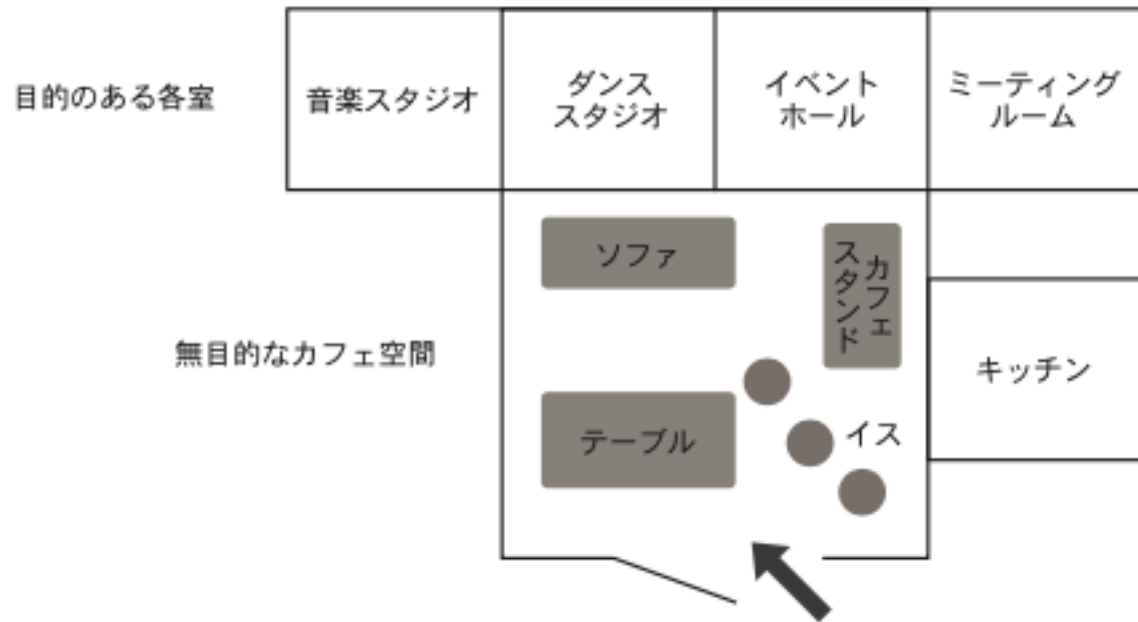


図4-2 フレドリックさんの描いたユースセンターの間取りとOLAの関係。
各室の前の無目的にただ「いる」ことができる「カフェ空間」こそが
ユースセンターの心臓であるという。

図2: Fredrik の描いたOLAを説明するためのユースセンターの間取り

① 開放性

- 会員証の撤廃、利用料の無償化
- センターの訪問障壁を下げるため

② 自由性

- ×招待型の活動
- ○プロジェクト型
- 個人 > 集団
- 施設運営にも参画

③ 無目的性

- 「音楽などの特定の活動をしたい若者の支援よりも、特にしたいことがない若者がくつろいでいられることが重視される」

スウェーデンの若者の活動の場

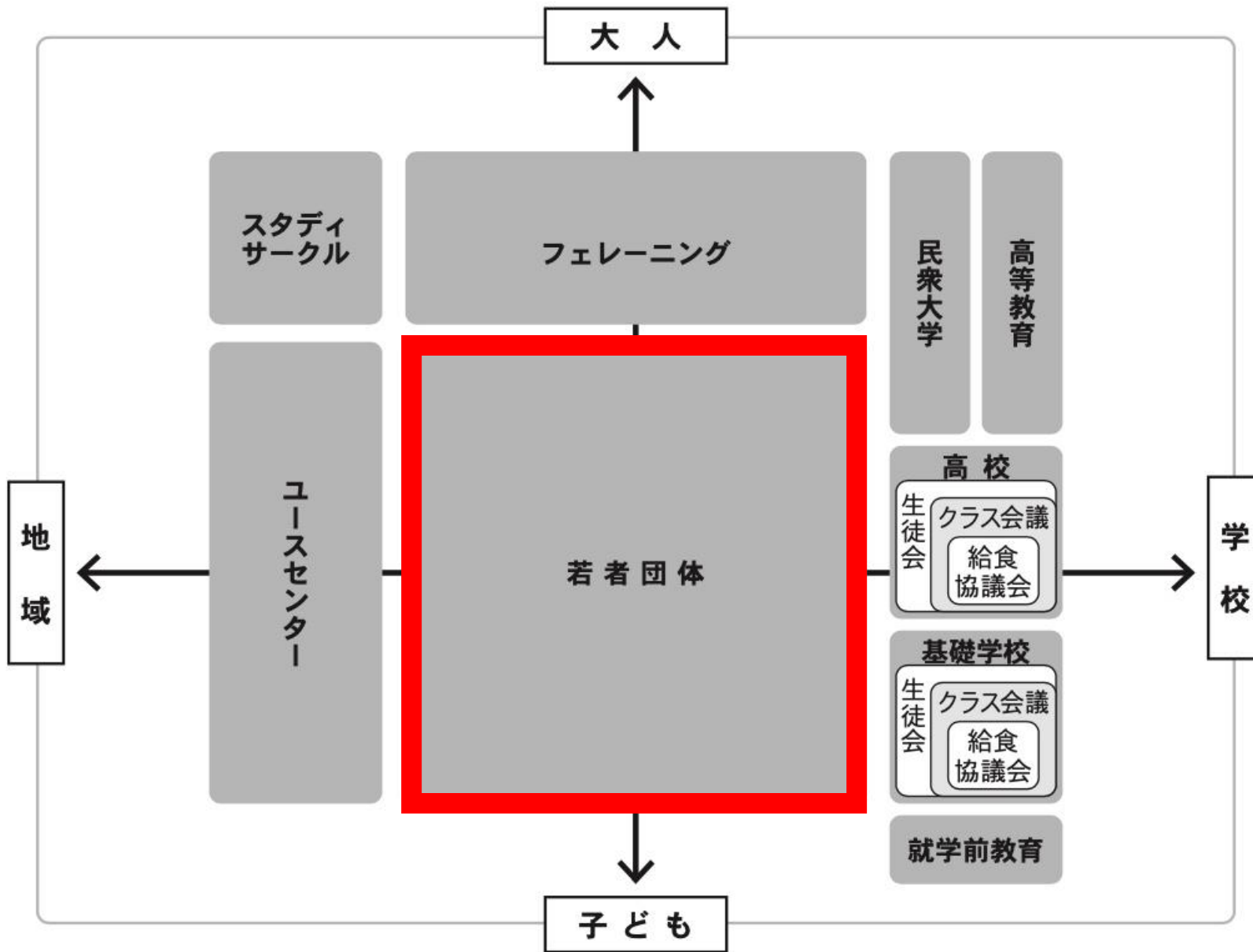


図6-1 スウェーデンの若者の活動の場

地域に若者の影響をあたえる若者協議会

ヨーテボリ市若者協議会の例

概要

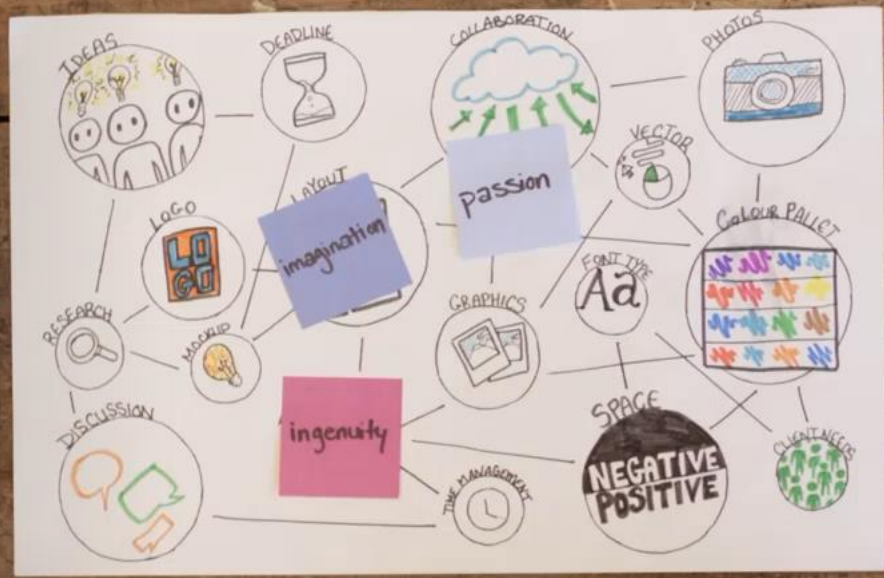


- 理事会はネットの選挙で選ばれる
- 市の若者101人(12~17歳)から構成される
- 若者が地域に影響を与えることを目標に
- 議論される内容を決めるのは若者
- 具体的な活動
 - 若者の公共交通機関の時間限定の無償利用可
 - ウォータースライド祭り
 - 地方選挙における16歳選挙権の導入
 - 毎年350万円の予算



まとめ

- ユースワーク = 若者の居場所 + 参画
 - 居場所になっている？
 - 参画が起きている？お飾りの参画が起きていない？
 - 大人が主体になっていない？
 - 余暇の時間・空間は十分にある？
 - ユースセンターだけじゃなくて地域に影響力が発揮できている？



グループ ディスカッション

ラウンド1

あらためて

**なぜ若者の居場所や若者とか
かわる活動があることが大事
だと思いますか？**

チノチノやcoto²があってよかったことは？

もしなかったらどう思いますか？

ラウンド2

①地域で同世代の若者と一緒に取り組んでみたいことは何ですか？

- ・すでにやっていること
- ・まだできていないけど挑戦したいこと

②それを実現するためには必要なことは？

- ・考え方、姿勢、もの、こと、ひとなど